

待ち受けるシャベラーズ、究極のゲーム。  
上級編『しゃべルーム学園』

選択肢として置かれたカード3枚のうち、**2枚以上が同じ絵柄**なら、シャベラーズによるカオスなイベントが強制発動！  
ルールを破ったら、即・脱・落！



雑談中、**カタカナの言葉**を使ってはいけません。  
「〇〇じゃ」「〇〇でござる。」など、昔風に話せば更に楽しいのじゃ！

雑談中、**【五七五】**でしか話せません。さらに、制限時間までに、必ず一句は詠まなければいけません。  
楽しみは 秋の夜長の シャベるうむ

雑談中、**笑ってはいけません**。  
誰かが笑ったら笑いが収まるまで待ち、全員で「失礼しました。」と言ってから雑談を再開しましょう。

問題に対し、「**最も当てはまらない**」選択肢が**1位**になります。問題文は残し、A～Cは流します。各自、改めて手札から1枚を場に出した後、ランダムに3枚を並べましょう。

雑談中、使える言葉は**選択肢の3つの言葉と効果音(擬音語と擬態語)**だけ。身振り手振りを駆使し、原始時代にタイムスリップしましょう！

雑談中、**カタカナの言葉のみ**使えます。もし「寿司」と言いたければ、「フィッシュライス」など、表現を工夫しましょう。そのまま「sushi」と外国語の発音で言うてはいけません。

雑談ではなく、**全員1回ずつ**ショートスピーチします。このスピーチは一息で行い、最後に「ご清聴ありがとうございました。」と言います。途中で息継ぎしてはいけません。

**初版限定カード**。このアイコン1つでイベント発生！**使える言葉は「ウホ」**だけ。更に、雑談中に一度はドラミングしなければいけません。



# しゃべルーム **Z** セット

Shabelor's enigmatic chat room

時間：10分  
人数：2～7人  
年齢：10歳以上

## プロローグ

どこか懐かしいチャイムの音が聞こえる…。  
気が付くと、あなたは教室の中にいた。  
学校机と教卓が並べられた部屋には、すでに何人かが着席している。  
あなたはなぜここにいるのかを思い出しながら教室を見回っていると、奇妙な人形が教卓に置かれているのを見つけた。

その後、  
「やあ、生徒諸君。」  
人形の口につけられたファスナーが、ゆっくり大きく開いていく。  
「雑談こそ最高のゲーム。きみもそう思わない？  
ぼくはシャベラー。そしてよろこそ、しゃべルーム学園へ…。」

遊び方の動画はこちら



## 内容物

雑談カード… 57枚



表(おもて) 裏(うら)

回答チップ… 21枚



表(おもて) 裏(うら)

ランキングカード… 7枚



表(おもて) 裏(うら)

## ゲームの目的

プレイヤー全員で、カードを組み合わせで作られた三択問題の答えについて話し合います。話し合いの後、各プレイヤーは「問題の答えとして最もふさわしい」と思う選択肢を選び、答え合わせをします。最多数を占める答えを選んだプレイヤー全員が、しゃべルーム学園を卒業(勝利)できます。

## ゲームの準備

1. 回答チップのA/B/C各1枚とランキングカード1枚をひとり分とし、全員に配ります。
2. 雑談カード57枚を裏向きにしてよく切り、山札にします。
3. 各プレイヤーは雑談カードを**3枚ずつ**引き、自分の手札にします。カードの内容をほかのプレイヤーに見せてはいけません。

## エピローグ

気が付くと、あなたは自分の部屋の中にいた。  
夢…？あの教室で体験した奇妙なゲームは、本当に夢だったのだろうか？  
もしもゲームに敗北していたら、ここに戻ってこれたのだろうか？  
いつの間にか、あなたの手には、  
【卒業証書 シャベラーより】と書かれた一枚の紙が握られていた。

ゲームデザイン 帆篠シンヤ  
アートワーク 苑弥るいず  
企画 福永裕介(ジョル)  
会田圭佑(K)

製作・著作  
ボードゲームカフェ ジョルディーノ  
**JOLDEENO**

劇丁、落丁、その他のお問い合わせは、こちらまでメールをお願いします。joldeeno@gmail.com

## 3～7人で初めて遊ぶならこちらから！ 初級編『しゃべルーム』

1. 山札から雑談カードを1枚をめくり、表向きで場に置くと、右のような問題文が出てきます。全員で内容を確認しましょう。

🍴(赤)料理 🌟(黄)活動 🟢(緑)場所 🟦(青)人物

2. 各プレイヤーは、手札から**問題に最も当てはまる**と思う単語が書かれたカードを1枚選び、場に裏向きで出します。

1. **でめくられた問題文のジャンルが料理なら、料理の単語**を参照します。

3人で遊ぶ場合のみ、更に山札から1枚を裏向きのまま追加し、場に出します。

3. 全員が出したカードを裏向きでよく混ぜた後、**ランダムに3枚**をめくって図のように並べると、今回の三択問題が完成です！この配置の場合、次の問題になります。

3年間、水と〇〇だけの食生活を  
続けられたら1億円ゲット！ どれを選ぶ？  
A. 麻婆豆腐 B. ハンバーガー C. 天ぷら

4. 各プレイヤーは、三択問題の答えに**ふさわしくない**と思う**選択肢の回答チップ1枚**を、「これは1位ではありません。」と言いながら、自分のランキングカード(裏面)の上に裏向きにして置きます。ゲーム中、置いたチップを入れ替えることはできません。残りの2枚のチップは、裏向きにして手元に置いておきます。

5. プレイ人数に応じて2～3分程度の時間を決めておき、**問題の答えとして最もふさわしい**選択肢はどれか、**全員で雑談**をします。チップを公開することは禁止ですが、何を置いたか話すことは自由です。雑談中、嘘をついても構いません。

6. 各プレイヤーは、雑談時間中、「これは**1位ではありません。**」と言いながら、手元にある2枚の回答チップのうち1枚を裏向きにして自分のランキングカード(裏面)の上に置きます。**最後の1枚は、裏向きのまま手元に残しておきます。**

7. 手元に残した回答チップを全員で一斉に見せ合い、**最多数派に属していた人全員が勝利**します。満場一致だった場合、全員を納得させる答えを出した偉業として、**その雑談カードを出した人の単独勝利(重要)**になります。3人プレイで満場一致の場合、その雑談カードが山札のものであれば、全員が敗北です。

奇数人数  
(5人プレイ)



偶数人数  
(6人プレイ)



## 3～7人で遊ぶならダンゼン楽しい！ 中級編『しゃべルームZ』

1. から3. までの流れは、**初級編**と同じです。

4. 各プレイヤーは、「これは**〇位です**」と言いながら、3枚の回答チップのうち**任意の1枚**をランキングカードの好きな場所に裏向きで置きます。配置済みのチップの種類や場所を変えることはできません。

例 たろうさんは、「これは3位です！」と言いながら、ランキングカードの3位の場所に、Cのチップを裏向きで置きました。



5. の流れは、**初級編**と同じです。

6. 各プレイヤーは、雑談の時間中に、**残り2枚の回答チップを、ふさわしいと思う順位の場所に裏向き**にして置きます。

例 たろうさんは、すでに3位の場所にCのチップを置いています。2位の場所にAのチップ、1位の場所にBのチップをそれぞれ裏向きで置きました。



7. 全員で一斉に、配置したチップを3位⇒2位⇒1位の順で見せ合います。この時、**ランキングが完全に一致している人数**を数え、最多数派に属していた人全員が勝利です。もし満場一致だった場合、全員から**1位に選ばれた雑談カードを出した人の単独勝利**になります。その他、詳しい勝敗の判定は、**初級編**に準じます。

## 2人プレイ専用の協カゲーム！ 特別編『つなぐルーム』

1. 山札から雑談カードを1枚をめくり、2人で問題文を確認します。2人の合意により、**各ラウンドで一度だけ問題文をめくり直すことが可能です。**

2. 2人とも、山札から3枚を引いて手札にします。問題文に最も当てはまると思う1枚を選び、裏向きで場に出します。**山札からも1枚を裏向きで追加**します。

3. 3枚のカードをよく混ぜた後、問題文の下に並べます。

4. 雑談は**できません**。2人で同時に、**山札から追加されたであろう1枚**を指し示します。2人とも同じカードを指し示すことができれば1点です。

5. 3回失敗するまで**1~4.**を続けた後、右の表で結果を確認しましょう。10点で2人の完全勝利です！

0~4点 2人は今日が  
初めましてかな？

5~7点 なかなか良い  
相性のようだね！

8~9点 さては5年以上  
一緒にいるね？

10点 どちらが超能力  
使えるんだい？